

謹賀新年



本年もどうぞ宜しく
お願いいたします。

定期整備!

一月十三日(祝)一月とは思えない暖かい朝を迎え、祝日でしたが子供達を交えて十六名の参加により整備を行いました。今回は大量の落ち葉の収集やこれまでの暖冬の影響か、短期間の間にどの花壇にも一面に雑草が生えましたので、手分けをして除去作業を行いました。作業をしながら、お正月のご家庭の様子などの楽しい話で盛り上がりましたが、年が明け更に会員の高齢化が進む中で新会員の獲得と無理をしないで活動に参加することを心掛けて行きたいと思っております。

どんど焼き!

一月十二日(日)今にも雨が降り出しそうな朝でしたが、花咲く公園にて自治会の恒例行事として、新年を迎え一年間の無病息災を願い、正月飾りや書初め、破魔矢などを焼く「どんど焼き」が行われました。自治会役員、愛護会員などによってつきたてのお餅を使ったお汁粉やきな粉餅などが振舞われ、ご近所同士で楽しい会話が交わされました。年々参加者が減少傾向にあります。可能な限りこれらの行事を続けて行けたらと願いました。



今年もよい年でありますよう!

豆知識!

『梅に鶯 (うぐすあ)』

「日のよく当たる庭前(にわさき)の 垣根の梅が咲いてから 毎朝来ては鶯が かわいい声でホウホケキョウ」早春の風景を歌った唱歌。

大鏡という昔の本に梅と鶯のことが書かれています。村上天皇のとき、清涼殿(天皇の日常の居所)の梅が枯れた。夏山茂樹という者に命じて京の街から適当な梅の木を掘りつけてさせた。梅の木には結び文がしてあった。「かしこくも天皇の命令ですからこの木を差し上げますが、いつも来る鶯に、自分の止まる木はどこへ行ったのしょうと聞かれたら、何と答えましょうか(勅なればいともかしこし 鶯の宿はと問わばいかか答へむ)」。梅の木のあった家の主が紀貫之の娘とわかり、天皇は「残念なことをしてしまっただ。はすかしい」と思われたということです。



ホウホケキョウと鳴く鶯!

今日の公園!



新春を迎えて!

お知らせ!

- 二月の公園整備は二日(日)です。花壇の整備や除草、清掃などの作業を行いますのでご参加下さい。
- 二月の回収、ピン・缶は二十五日(火)、古紙は二十三日(日)です。自治会の回収活動にご協力下さい。
- 高松神明原公園愛護会は現在二十名の会員により公園の美化活動に取り組んでいます。自治会員に限らずご参加下さい。

連絡先・二三七五一八一 山本まで